

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.1.17

No. 73

後輩への迷惑を考えよう



本年度の厳しい就職戦線の中で、特に二次試験以降今年度も地元の企業に随分助けられました。その多くは「昨年採用した生徒が良くやってくれているので、そんなに困っているならば今年も採用しましょう」ということでした。その反対に、「昨年来た生徒はどうもあまり使いものにならないからお宅の学校からは採用できない」と仮に言われたとすればこんなに悲しいことはありません。しかし世の中とはこういうことがありがちです。

皆さんが就職してしっかり頑張ってくれると、人事担当者も「来年も箕輪進修から採用しよう」ということになります。皆さんは会社に入っても後輩のことなど考えずに、生活しているかもしれませんが、皆さんが簡単に会社を辞めてしまったり、きちんと仕事をやらなかったり、会社に迷惑をかけるようであれば、来年から本校への求人は途絶えてしまいます。学校にとっては一大事です。先輩の様子により後輩の未来が閉ざされたとするならばゆゆしき問題です。

「学校の伝統」ということが大切ですが、それは卒業生一人一人の日頃の地道な努力の積み上げにより出来上がるものです。一部の不心得者の先輩により、積み上げられた伝統を簡単に崩してしまうことのないようにして欲しいものです。皆さんは自分だけの自分ではなく、常に色々なところに影響していることを自覚して欲しいものです。



「挨拶」は人間関係の潤滑油

会社に入ってまず言われることは「きちんと挨拶が出来ること」でしょう。社会は常に人と人との関わりの中で成り立っています。その時周囲の人ときちんとコミュニケーションがとれなくてはダメです。廊下ですれ違ったとき知っている人があなたに挨拶をしなかったら、どう思うでしょうか。まして上司や先輩がそんな君達を見たとき、「こいつ何を考えているんだ」と不満を感じるでしょう。そんなことが重なると、最後には「こいつはダメだ」と烙印が押されてしまうでしょう。当然その後の人間関係がうまくいくはずがありません。職場内で気まずくなれば、仕事も面白くなくなり早期退職ということになりかねません。

顔を合わせたとききちんと挨拶をすることにより、少しずつ気心が通じていくものです。周囲の人と上手くやっていけば、その職場にいることに安心感を感じ居心地も良くなっていきます。まさに挨拶は人間関係の潤滑油です。挨拶も小さな声で言うだけではなく、「きちんと声を出し元気よく」することも大切でしょう。会社に入って急に挨拶をしようとしても出来ないかもしれません。今から少しずつ挨拶を心がけてみましょう。

努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

井上靖